

12 叔父の一周忌

石川 幸三

8

叔の家 ^(は) あまり玄くもあら庭に、はらの
 木が三十株以上植えてある。これは家の内
 道まで、ほかに庭のすくちんのたむけと
 果つて、叔は文句い言はね居るが、作る相
 手んキヤの4おーれとすのん、^{手書}のり
 ちん。

8

く見えよ

五月半はあつはらの香印ははります。ま
 こゝろはちんちんあつちん。初夏の文書と
 ちんちん、除々に書きわてゆき ^(は) のちのち、花
 の白ちんちんあつちん。花の一番あつ
 時間ひあつちん。

その庭に、木戸口あつ靴を鳴らして、お又
 の壇あはりつてあつちん。ル、一年以上のあつち
 ニとのちんちん、はあちんあつちん。用事は何
 ちとあつちんちん、(父の)一週忌あ、あしちんち
 すしと、あつちんちんあつちんちん。あつちんち
 ちんちん